

経済倶楽部便り

◆東京◆ 経済倶楽部と縁の深い東洋経済新報

社は11月15日に創立120周年を迎えます。それに合わせて、当倶楽部でも10月の講演会では増田弘・東洋英和女学院大学教授に「石橋湛山の憲法論と防衛論」についてお話しして頂きました。憲法九条に対する評価や対米自立論など興味深い内容で、12月号に掲載予定です。

新入会員は9月(未掲載分)が二ノ丸信吾・東銀リース常務、伊藤孝之・東銀リース参与、廣瀬千秋・産経新聞編集委員、10月が佐藤克朗・日立製作所経営企画室部長代理、上田元彦・上田八木短資会長です。

12月の講師は野口悠紀雄・早稲田大学ファインانس総合研究所顧問、ロバート・フェルドマン・モルガンスタンレーMUFJ証券エコノミスト、嶋中雄二・三菱UFJモルガン・スタンレー証券景気循環研究所長を予定しています。

◆中部◆ 名古屋駅に着くと駅前や隣接するさしま地区の活発な高層タワー建設に目を見張ります。来年から続々竣工し、2027年にはリニア新幹線も開業します。一方、栄地区はかつて賑わいの中心でしたが、目ぼしい再開発の動きはありません。このままでは賑わいの中心が名古屋駅周辺に移るのも時間の問題です。

12月の講師は浪川攻・『週刊東洋経済』記者、寺島実郎・日本総合研究所理事長を予定しています。

(日暮良一)